

平成 21 年度の主な事業と予算

		( は新規事業、 は継続事業)	
事業名	予算額	事業名	予算額
<b>生「やる気と活気」</b> やる気を応援し、活気あふれる都市空間と新しい地域経済をつくるまちづくり		<b>地「自然と資源」</b> 自然の恵みを活かし資源を大切にすまちづくり	
★ 経済振興対策事業	116 万円	★ 共同調査試験研究事業	80 万円
「新商品開発」、「交流」、「るもいブランド」をテーマとした、地域の「やる気」を支援する「元氣るもい助成事業」、食の「るもいブランド」登録認証の研究、ブランドシール等の作成、「市民と考えるまち再発見」研究など、5 つの経済振興対策事業を推進します		新星マリン漁協・東海大学との産学官連携により、保護礁試験を実施します	
★ 労働問題相談実態調査事業	23 万円	<b>守「暮らしと安全」</b> 機能的な生活基盤で安全で清潔な暮らしを守るまちづくり	
市内の労働環境、雇用実態などの把握と、雇用対策に向けた労働相談実態調査を実施します		★ 地域公共交通活性化・再生総合事業	0 万円
★ 南九条橋長寿命化整備事業	4,800 万円	地域公共交通の現況、課題を分析するための調査検討、試験運行を実施します(初年度は計画策定)	
緊急輸送道路に指定されている南九条橋の大規模修繕及び耐震補強工を実施します		★ 一般廃棄物処理施設整備事業(衛生センター組合負担金)	3,446 万円
★ 道路整備事業	1億5,211万円	留萌市外 2 町衛生センター組合での広域処理のため、新たなごみ処理施設整備に係る負担金	
高齢者、障害者に配慮した生活道路整備を進めます(整備箇所は以下のとおりです)		★ 公営住宅ストック総合改善事業(沖見町)	3,223 万円
<b>優「思いやりと安心」</b> 思いやりとコミュニティで安心して健康に暮らせるまちづくり		昭和 48 年建設の市住沖見団地の一部、住宅内の段差解消など高齢者に配慮した住戸改善を実施します	
★ 健康の駅 仮称 整備事業	4,000 万円	<b>宝「夢と宝」</b> 人・文化・地域の魅力と夢を育てるまちづくり	
道の遊休財産の無償譲渡を受け、健康づくり活動や情報提供する施設として整備します		★ スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業	44.9 万円
★ コホートピア推進事業	81 万円	問題を抱える児童生徒に対し、支援するソーシャルワーカーを配置します	
産学官の連携で、健康と安心、産業の創出につなげるコホートピア構想を推進します		★ 留萌の魅力・再発見プロジェクト	500 万円
★ 食生活改善事業	18 万円	留萌の様々な魅力を再発見し、新たに健康という価値観を加え、各種事業を実施します	
毎日を健康に過ごすための正しい食生活普及に向け、食生活改善事業を実施します		<b>海「海と港」</b> 海と港、留萌らしさを未来へ繋げるまちづくり	
★ 妊婦健診無料化事業	1,823 万円	★ 船場公園整備事業	5,200 万円
国の緊急少子化対策事業により、全 14 回分の妊婦健診を無料化します		市民や観光客が憩う中心市街地と留萌港に隣接した公園を整備します	
★ 病院事業会計補助金(特別支援)	5億8,586万円	★ 直轄港湾整備事業	1億2,350万円
市立病院の経営健全化を目指し、特別償還や不良債務解消などに要する経費を支援します		航路の安全性確保のため、港内静穏度の確保や越波防止への対応など、計画的に整備します	
<b>地「自然と資源」</b> 自然の恵みを活かし資源を大切にすまちづくり		<b>信「対話と信頼」</b> 市民との対話による働く市役所づくり	
★ 精米機導入支援事業	147 万円	★ 人事評価導入事業	42 万円
J A 南のもいが実施主体となって整備する精米機導入経費の一部を助成します		人事評価制度の導入を視野に入れた「評価者研修」を実施します	
★ 持続的農業・農村づくり促進特別対策事業	224 万円	★ 広報広聴活動事業	1,172 万円
道の道管中山間地域総合整備事業の農家負担の軽減策として、負担の一部を支援します		新たに民間事業者と協同作成する広報のもいをはじめ、様々な広報媒体を複合的に活用し、効率的、効果的に市政情報を提供します。また、市民役のまちづくりを進めるため、さらに幅広く市民との対話を行っていきます	
★ 鳥獣害防止総合対策事業補助金	504 万円		
エゾシカによる食害防止策として、侵入防止柵などの設置費用の一部を支援します			

今年度の道路整備箇所は以下のとおりです		
道路名	場所	期間(予定)
西5号通り(道路改良、舗装)	緑ヶ丘町 2 丁目 / みどり会館～みどりヶ丘スター / 240 m	2 月下旬～ 9 月下旬
ラム口通り(排水改修)	字ラム口 / 旧産業廃棄物処理センター処分場前 / 50 m	4 月下旬～ 9 月下旬
花園 5 号通り(道路改良、舗装)	花園町 4 丁目 / 堀松産商棟～佐藤宅 / 80 m	4 月下旬～ 9 月下旬
大和田 1 号通り(道路改良、舗装)	大和田 3 丁目 / 前田宅～渡邊宅 / 140 m	4 月下旬～ 9 月下旬
栄町 3 号通り(道路改良、舗装)	末広町 1 丁目 / 三橋宅～居原田宅 / 140 m	4 月下旬～ 10 月下旬
栄町 4 号通り(道路改良、舗装)	開運町 1 丁目 / 留萌記念病院～(南)中央重機 / 55 m	5 月下旬～ 8 月下旬
西 9 号通り(道路改良、舗装)	泉町 1 丁目 / 土井宅～大館宅 / 110 m	6 月上旬～ 10 月下旬
北 8 条通り(歩道改修)	宮園町 3 丁目 / 山本宅～るもいファミリー歯科 / 90 m	9 月上旬～ 10 月下旬
南九条橋(橋台改修)	緑ヶ丘町 1 丁目 / 橋台 2 基	9 月下旬～ 3 月下旬

場所については、若干の変更がある場合もございますので、あらかじめご了承ください。

市政執行方針及び主要施策に関するお問い合わせは、市役所企画調整課まで ☎ 42・1809

平成21年度

# ことしの仕事 ことしの予算

3月の市議会定例会で、高橋市長が市政執行方針を説明し、その実現に必要な仕事と予算が決まります。市は4月から、この予算に基づき様々な仕事に取り組みます。今月は、平成21年度の予算と仕事についてお伝えします。

## 平成 21 年度 市政運営における重点的な取り組みについて

留萌市では、「市民が主役のまちづくり」を掲げ、市政懇談会などを通して、多くの市民の皆さんとの対話を重ねながら、市が直面する様々な課題に取り組んでいます。本年度は、新・財政健全化計画と市立病院改革プランを着実に実行するとともに、留萌の再生のため次の3つの重点的な取り組みを進めていきます。

### 市民の健康の維持と増進

市民の健康、家族の健康、地域住民の健康をしっかりと守り、家族や地域の中での悲しみを無くしていかなければなりません。市民が一つの家族になり、いつまでも健康で笑顔があふれる「健康家族」を目標に取り組みます。市民一人ひとりが健康で生きがいをもって暮らすことができるよう、「健康寿命の延伸」に重点を置き、予防対策などの施策を展開し、市民の健康維持と増進を図ってまいります。特に、特定健診は自らの健康をチェックし、自らの健康を守っていくためにも大変重要なことです。

本年度は、道内の医歯大学と国立保健医療科学院などの協力や北海道からの支援をいただきながら、市民の健康と安心、産業の創出に繋げる道内ではじめての「るもいコホートピア構想」がスタートします。これを機に、地域の「健康

### 子どもや高齢者が安心して暮らせるための配慮

子どもやお年寄りの笑顔は、かけがえない大切なものであり、守っていかねばなりません。お年寄りの方をはじめ交通手段の確保が難しい方への支援、地域間交流を図るため、生活路線バスの維持や地域交通機関の空白地帯の解消と中心市街地や病院へのアクセス向上に向けた調査検討、さらには試験運行の実施に取り組み

いきいきサポーター」とともに、市民が健康意識を高め、健診を受け、健康づくりを実践することができるよう、市としても積極的に取り組みます。また、市民が気軽に立ち寄り、自分の健康情報をチェックしながら健康づくりを楽しめる施設として、「るもい健康の駅」を整備し、「るもいコホートピア構想」を進める拠点施設とします。

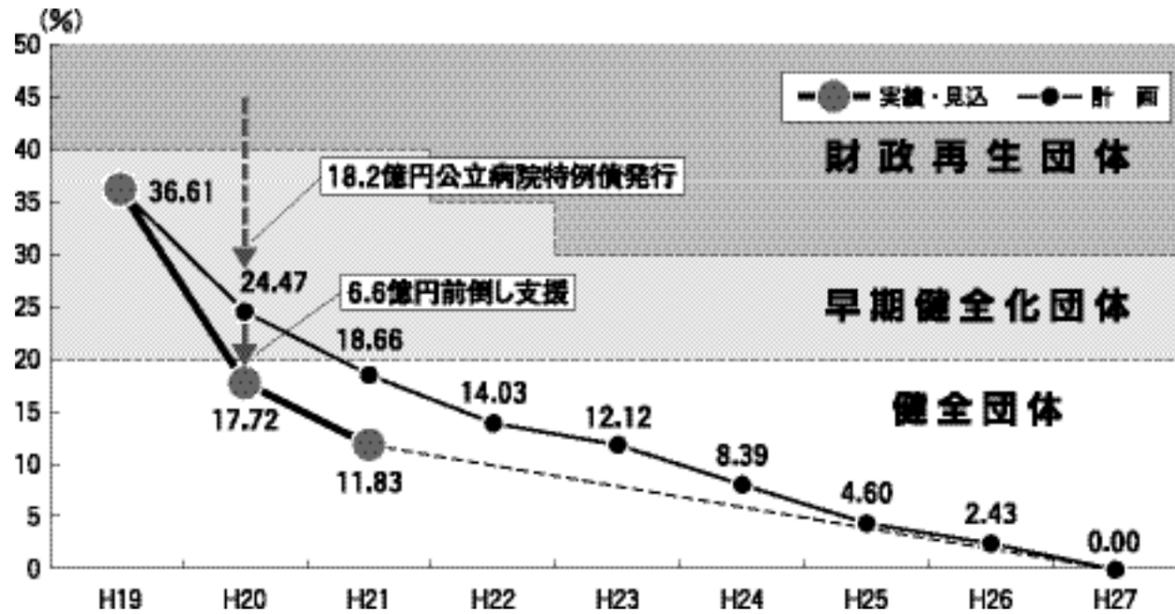
### 経済の活性化と社会基盤の維持

地域資源を再構築して、健康づくりと連携した新たな付加価値を創出し、この地を代表する「留萌ブランド」を確立していくなど、地域経済の活性化に向けての支援を行ないます。また、新商品開発や若者の起業などの新たな価値観、新たなチャレンジに取り組みエネルギーを見落とさず、行政として支援します。社会基盤につきましては、持続可能なまちづくりのため、市民生活に関連した事業の推進に努めます。

## 病院事業会計に対する6億6千万円の前倒し支援

財政健全化計画では、平成20年度当初予算において計上していた病院事業会計への15億円の特別支援を全額取り止めて、毎年約5億円を7年間支援する財源として基金へ積み立て、平成20年度決算で「早期健全化団体」、平成21年度決算で「健全団体」へと回復する計画でした。

計画では、今後、公債費（借金返済）のピークを迎える一般会計の財政状況からも、基金へ積み立てることで、より安定した財政運営が可能と判断していましたが、基金へ積み立てる財源がありながら、連結実質赤字を抱え「早期健全化団体」となるよりも、今後の財政見通しを考慮した上で、可能な範囲として6億6千万円を前倒しで支援し、平成20年度決算で「健全団体」となって、健全化に取り組んでいきます。



## 7年間の財政健全化計画に変更はありません

平成20年度の6億6千万円の前倒し支援は、病院事業会計への支援のペースを変更したもので、決して留萌市の財政状況が急激に好転し財源に余裕ができたわけではなく、7年間で支援する総額には変更ありません。

平成21年度から財政健全化計画を着実に実行し、計画が1年でも早く達成できるように、皆さんとともに努めていきます。

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	7年間支援総額
特例債支援		296 (296)	291 (291)	285 (285)	280 (280)	275 (275)	270 (270)	265 (-)	1,962 (1,962)
不良債務解消支援	660 (0)	220 (220)	6年間で残り6億7千3百万円を支援						1,553 (1,553)
病院支援合計	660 (0)	516 (516)	6年間で残り23億3千9百万円を支援						3,515 (3,515)

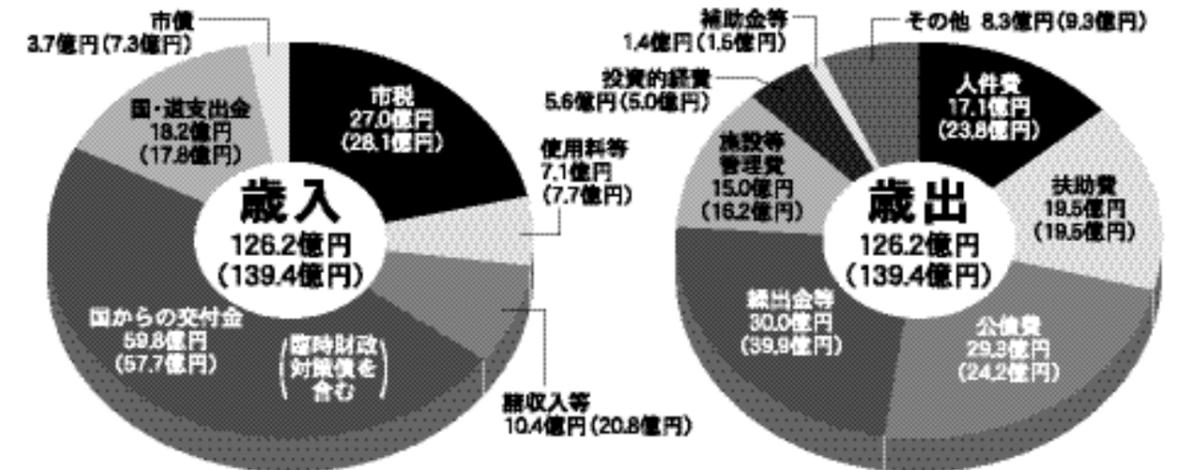
( )内は、財政健全化計画における年度毎の支援額です。

病院への支援総額に変更はありません

## 平成21年度一般会計予算

( )内はH20予算額

平成21年度当初予算は財政健全化計画に基づいて予算を編成し、一般会計の予算額は前年度比13億2千万円減(9.5%)の126億2千万円となりました。この大幅な減少は、平成20年度当初予算に、病院事業会計への特別支援15億円を計上していたもので、平成21年度は計画どおり約5億円を支援します。



### 歳入の特徴

[ ]は昨年度比

- 市税【1億1千万円の減】
- 個人所得の減少や景気低迷による法人関係の落ち込みなどにより減少。なお、固定資産税については、評価替えの影響で大きく減少するところがありますが、税率改正(1.4%→1.5%)をさせて頂くことで、5百万円の減少に止めています。また、軽自動車税においても税率改正(1.5倍)により1千3百万円の増となっています。
- 諸収入等【10億4千万円の減】
- 平成20年度は病院事業会計への15億円の特別支援の財源として、基金の繰り入れなどを計上していたため大幅減
- 市債【3億6千万円の減】
- 退職手当の減少に伴う、退職手当債の減

### 歳出の特徴

[ ]は昨年度比

- 人件費【6億7千万円の減】
- 職員数の減や職員給与削減の拡大
  - 職員数 216人→191人
  - 特別職給与(市長・副市長・教育長)30%カット
  - 一般職給与削減 20%カット
  - 議員報酬削減 15%カット
- 退職手当の減少 24人→12人
- 公債費【5億1千万円の増】
- H17年度に実施した、公的資金借換債の返済が本格化するため大幅増
- 繰出金【9億9千万円の減】
- H20年度当初予算には、病院事業会計への15億円の特別支援が含まれており、平成21年度予算では財政健全化計画に基づき5億2千万円の支援としたため大幅減

【表】平成21年度各会計別予算

【単位:百万円】

会計区分	H21年度 予算額(A)	H20年度 予算額(B)	比較 (A-B)	増減率 (%)	赤字額( )内は黒字額		H21年度 予算連結実質 赤字比率(%)	市債(借金)残高		
					H20年度 最終予算	H21年度 予算額		H20年度末 見込額	H21年度末 見込額	
一般会計	12,615	13,941	1,326	9.5	-	-	-	23,679	21,938	
特別会計	国民健康保険事業	2,932	2,983	51	1.7	404	421	5.27	-	-
	老人保健事業	11	339	328	96.8	-	-	-	-	-
	後期高齢者医療事業	256	271	15	5.5	-	-	-	-	-
	介護保険事業	1,664	1,565	99	6.3	-	-	-	-	-
	港湾事業	196	319	123	38.6	-	-	-	1,743	1,645
会企計業	水道事業	938	1,091	153	14.0	(222)	(276)	(3.45)	3,605	3,573
	病院事業	6,201	6,221	20	0.3	986	714	8.93	10,583	9,930
合計	26,886	29,490	2,604	8.8	1,426	946	11.83	49,775	47,029	

各会計毎に端数処理しているため、積み上げが合計額と合わない場合があります。

平成21年度の連結実質赤字比率は平成21年度の標準財政規模の見込7,994百万円に対する赤字(黒字)の割合です。

病院事業会計の赤字の減少は、一般会計からの不良債務解消支援2億2千万円と経営改革による約5千万円の単年度黒字によるものです。